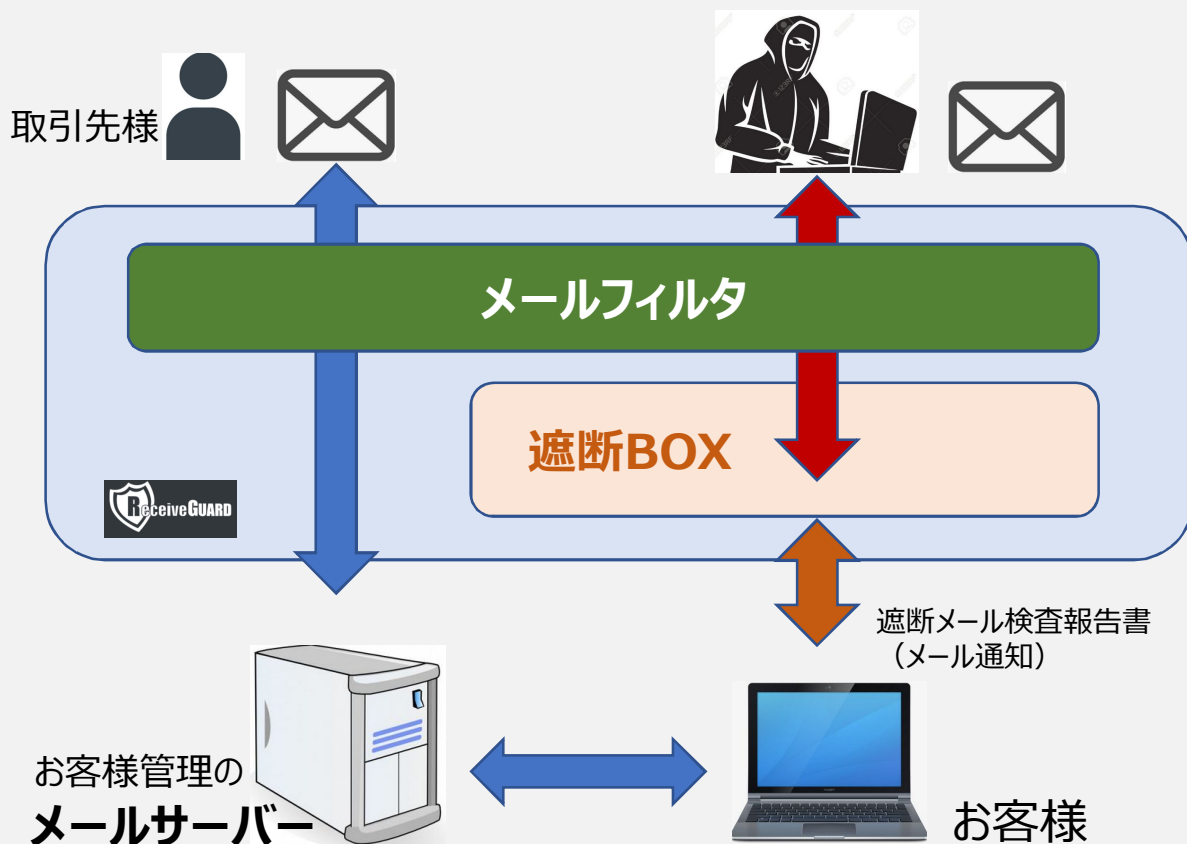


レシーブガードの機能説明



導入後の受信メールの流れ



【正常処理】

取引先様からのメールはメールフィルタ経由し、通常利用のメールサーバーに格納されます。

【異常処理】

悪意ある（疑いのある）メールはメールフィルタにて判断を行い遮断BOXに一時的に退避格納されます。

退避メールは「メール無害化」を行い受信者（お客様）に遮断格納しているメール※が送信されます。お客様は、無害化されたメールを確認行い、受信・拒否の判断を行うことができます。受信希望後は、メール受信できます。

※レシーブガード遮断メール検査報告書

【メールアーカイブ】

正常メールも含めてレシーブガードでは一定期間メールを格納するアーカイブサービスも標準機能で提供しております。

レシーブガード遮断メール検査報告書

(メール) 内容



Receive GUARD 遮断メールリスト

遮断メールの検査報告書を通じてSCM GUARDで遮断されたメールリストを確認することができます。
正常メールが遮断された場合「遮断メールの確認」をクリックして遮断のメール内容を確認して復元したり、次には遮断されないように許可
することができます。

2019/02/06 09:00 ~ 2019/02/06 12:00

発信人	タイトル	日付	フィルタリング
		19.02.06	警告

遮断メールの確認

遮断されるメール

- ① ウイルス、URL、危険リンクなど、危険と判断されたメール
- ② 添付ファイルを分析して、ランサムウェアを含んでいると判断されたメール
- ③ メールヘッダ（アドレス、ID、ドメイン、その他）が既存のメールからの偽造・変造されたメール
- ④ アドレスが偽造、変造された受信メール
- ⑤ 送信者のIDが偽造・変造されたメールか、返信の送信者IDが偽造されたメール
- ⑥ 送信者のドメインが偽造・変造されたメール
- ⑦ メールヘッダと異なる内容で偽造・変造されたメール
- ⑧ メール発信地が既存のメールと異なる発信地であると判断されたメール
- ⑨ 以前に受信した最初の発信地が変更されたメール
- ⑩ 以前に受信した最終の発信地が変更されたメール
- ⑪ 以前に受信した中間発信地が変更されたメール
- ⑫ 既存のメールのドメインと別の類似のドメインが受信されたと判断したメール
- ⑬ FakeMailerリストに登録されたメール

遮断対象のメールが届いた際には担当者宛に遮断報告メールがレシーブガードシステムより配信されます。

該当メールを無害化された状態で確認し正常受信か遮断の確認・判断が行えます。

レシーブガードは、セキュ・ジャパン株式会社が提供しているメールフィルタリングサービスです。

<https://secujapan.jp/receiveguard/>